

年 組 名前

癒やしロボ 今冬も深川駅に 来月5日まで



白井駅長に抱っこされ眠そうな表情を見せる「ふかちゃん」

【深川】JR深川駅の待合室でこの冬も、小型の癒やしロボット「LOVOT（ラボット）」（愛称・ふかちゃん）がお目見えした。

ふかちゃんは高さ43センチ、重さは46キログラム。人肌に近い37度に保たれ、抱くとほんのりと温かい。頭上に装着されたカメラで触れてくる人の顔を識別しているといい、「触れ合う回数が増えたと、喜んで、見つめ返したりと、どんどん懐いてくれる」という。

ふかちゃんは、深川駅を利用する1日平均約800人の人たちを癒やしたいと、白井淳一駅長（43）がロボットメーカー「GROVE X（グルーブエックス）」（東京）から有料でレンタルし、8日から置いている。

ふかちゃんを抱っこしていた沼田町職員のAさん（28）は「丸い瞳の中が雪の結晶になっていて、かわいい」と見つめていた。

来月1月5日まで、毎日午前7時から午後3時まで設置する。（出井一彰）

2025年12月11日（木） 朝刊 空知版 16ページ（記事は再編集しています）

① 癒（い）やしロボット「ふかちゃん」の特ちょうについて、（ ）に文中の言葉を入れましょう。

- （あ）：高さは（ ）センチ
- （い）：重さは（ ）キログラム
- （う）：体温は人肌（ひとはだ）に近い（ ）度で、抱（だ）くと（ ）と温（あたた）かい
- （え）：丸い瞳（ひとみ）の中は（ ）の結晶（けっしょう）になっている
- （お）：頭上の（ ）で、触（ふ）れてくる人の（ ）を識別（しきべつ）している
- （か）：触（ふ）れ合う回数が増（ふ）えたと、どんどん（ ）くれる

② 白井駅長は、どうして「ふかちゃん」を深川駅に置こうと思ったのでしょうか。（ ）に文中の言葉（19字程度）を入れましょう。

白井駅長は、深川駅を利用する（ ）と思ったから。